

1. 日時：令和2年2月7日（金） 15：30～17：00（於：校長室）

2. 次第：

（1）校長挨拶

（2）事務局より取組の報告と協議・意見交流

1. 学校経営計画評価

2. 次年度計画について

3. その他取組の報告

（○：学校運営協議会委員 ●：事務局員）

1. ＜今年度学校経営計画評価と次年度計画について＞校長より

学校教育自己診断、生徒保護者教員向けのアンケートを基にして結果を出した。

『高い学力の育成』

「授業は興味深く満足できるものである。」が90%を超え、「授業では、実験・観察・実習などの時間がたくさんある。」が大きく伸びた。発表機会が多くなり、思考力・判断力・表現力を意識している教員が増えてきている。

『豊かな人間性と心身のたくましさの育成』

学校行事や部活動の満足度は概ね高い。また、「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い」が大きく増えたことは喜ばしい。「人権の大切さについて学ぶ機会が多い。」についても、ここ3年間、数値は伸びているが、さらに高めていきたい。

『次代のグローバル・リーダーの育成』

今年度より指定を受けたWWL（ワールドワイドコンソーシアム構築支援事業）は次年度以降、課題研究に関して、さらにテーマに沿って深めていこうと考えている。防災についても、一定指導はしているが、災害時の安否確認などシステムを構築していきたい。

全体としては、保護者・教員のアンケート項目のほとんどで上昇。学校の経営方針に理解をしていただいていると考えられる。生徒の頑張りに応えられる学校でありたいと思っている。

＜ご意見および質疑応答＞

○評価が上がっているのは素晴らしい。先生方の努力が現われている。さらなる上昇ではなく、高い数値を維持するだけで十分だと思う。

○成果が出ているのを見て驚いた。「観察・実習の時間が授業内である」の項目がすごく上昇しているので、教員の努力があったと思う。それで生徒の満足度が上がっているのは素晴らしいと思った。実習形式の授業は意識的に増やしているのか？

●ICTを使う教員が増えている。使い方次第で教育的効果が高いということだと思われ

る。理科以外の教科でも実験に類するものがあると考えられる。旧来の授業ではない授業が増えてきていて、それが生徒に受け入れられているという印象。

2. <次年度計画について> 校長より

- ・人間力を身に着けることを意識させたい。そしてその人間力を社会貢献へとつなげてもらいたい。
- ・授業を受ける姿勢がキラキラしていた。→凄さを「見せる」から凄さが「輝く」に変更。
- ・「校内課題解決に向けて」をシンプルにし、働き方改革について、の項目を追加。

<ご意見および質疑応答>

○業務の見直しに関して、こうでなければならないと思うが、自分の業務のどこを削減できるか？どこに重点を置きたいか、というようなアンケートはやっているか？

●働き方に特化したアンケートはない。校長への提言シートはある。具体的な形で聴きとめることは必要なのではないかと思っている。

○会報の中でノークラブデーを入れて一週間に6日活動している、というクラブがあったが・・・。

●そういう週があってもいいが、トータルでは基準を満たすようにはなっている。

●経営計画についての了解を→（一同）承認

3. <その他>

●教頭より

授業アンケートデータ比較

●進路部より

センター試験結果。健闘した。2次の出願状況も昨年並み。

●生徒指導部より

本日断郊競走が無事終了。生徒たちはよく頑張っていた。遅刻は減少傾向にある。

●首席より

学校教育自己診断について

●その他 校長より

150周年記念事業について

<各委員より提言>

○先日初めて課題研究発表会を参観。生徒の熱意を感じた。成果品についても非常に工夫されており、楽しかった。自身が建築のことをやっているの、それらに関連したものを見ていた。机上で調べたものだけではなく、出向いて調べたものがあったのでよかった。

10年15年後の将来につながりそうな発想でよかった。

○吉野彰先生の講演会では同窓会、学校、PTAが連携をして良い取組ができた。150周年を見据えて連携していかなければならない中、好例となった。吉野先生講演会で先生への生徒の質問が鋭くて感心した。

○課題研究の発表会を見ていて、いい質問が増えてきた印象がある。教員の思惑と合致していて、うまい循環ができているのかなと思う。目標を非常にうまく達成していると思った。

○遅刻・塾の問題が気になる。

●本校では多少欠席はあったものの概ね最後までしっかり登校したと聞いている。学校中心で行動していることから、学校、教員を信頼している表れではないだろうか。

○今年度の評価の上昇に驚いた。次年度の計画もこの数値を保つことは非常に難しいとは思いますがこの勢いを継続できれば素晴らしいと思う。大学で壁に当たったとき、自身で打破できない人たちが多くなっている印象がある。北野ではクラブなどをはじめ、いろんなことをやっていて力強い。北野の学校行事、部活動、リーダーを育てるという一連の活動は素晴らしい。ぜひ次年度もこの調子でいってほしい。

○通勤のバスでよく北野の生徒と一緒にいるが、高齢者に席を譲るなど、マナーが良い。また、昨今の状況で言うと、中学では LGBT の生徒の制服の問題も考えないといけないと感じている。ぜひ今後とも情報交換させていただきたい。

○吉野先生のような影響力のある方が母校におられる、そして、そういう方の講演を聞ける機会がある環境はすごくありがたいと思った。